

循環器内科からのお知らせです

当院では、京都大学大学院医学研究科循環器内科学を中心とした多施設と合同で、下記の研究に参加しています。

#### 研究課題名

「日本における経皮的冠動脈インターベンション (PCI) および冠動脈バイパス手術 (CABG) のレジストリー (コホート III)

#### 対象

2011年1月～2013年12月の間に当院で初回の冠動脈インターベンション (ステント留置術) を受けられた患者さん。および急性心筋梗塞で冠動脈インターベンションを受けられた患者さん (再手術を含む)。

#### 調査方法

上記患者さんのカルテから年齢、性別、患者背景 (既往歴、冠危険因子など)、検査データ、PCI 内容などについて登録します。

(患者さんの氏名、生年月日、住所、電話番号など、個人を特定できるような情報は一切登録しません。)

PCI 施行から 3 年、5 年、10 年後に追跡調査を行い、心血管イベント (死亡、心筋梗塞、脳卒中、再血行再建など) の有無を調べます。追跡調査は基本的にはカルテで行いますが、その時点で当院に通院しておられない患者さんについては、かかりつけの先生や、患者さんご自身にお手紙で確認させていただく場合があります。

詳細については、当院循環器内科医にお尋ねください。

上記の対象になる患者さんの中で、登録を希望されない方がおられましたら、お申し出ください。

本研究は当院倫理委員会で承認されています。